

岐阜東幼稚園 1学期 園行事



お日様のあたたかさ
と春の草花の気持ちよさに
包まれて



れんげの花で髪飾り
スズメノテッポウで笛作り



図鑑で調べてみよう！

4/20

れんげ畑

4月20日 幼稚園東側にある田んぼで遊びました。
たいよう組の子供たちがなつめ組の秋にまいた種がれんげの花となって咲きました。

一面のれんげ畑に入ると、ほんとに、気持ちがよく、思わず寝転んでみたくなります。青い空がとっても近くに感じることができます。
そして、れんげの花を束にして髪に飾ったり、ススメノテッポウで笛を鳴らしたりしました。
れんげ花の他にも、虫たちが顔を出しています。持参してきた図鑑で調べ始める年長さん。準備がいいですね。
田んぼの溝の端っこを歩きだす子もいて、出会ったところでじゃんけんが始まりました。

4月入園進級して間もない時期だからこそ、れんげ畑など自然の中で、心がホットして開放感があることで、肩の力が抜けたり、笑みがこぼれたり、子供たちの表情が穏やかで明るくなっていくことを感じます。

降園後に、収穫に畑へ



畑でカエルを発見！
畑には自然が山盛り



4/26・27
夏野菜植え

4月26日27日に一人一苗の夏野菜を植えました。

園務員の先生から植え方を教えてもらい、親子で植えました。

降園時に畑に寄っていき水をあげたり、花が咲き、実がなっていく過程を親子で観察したりしていくことで、収穫する日が楽しみになっています。

「緑だったミニトマトは、どうなっているかな？」「昨日の赤ちゃんキュウリ、大きくなっているかな？」など親子の会話がはずみます。

また、畑には野菜だけではなく、カエルやテントウムシなど虫と出会うことも多いようです。誰かが虫を見つけると、周りの子も寄ってきて、数人で虫の観察をしたり、捕まえたり、毎回、ドラマがあるように思います。

繰り返し畑で出かけ、自然に触れ合う中で「なんでだろう」と不思議に思う気持ちから、探求心が生まれていきます。探求心があることで、自分で調べたり、考えたり、思考力も育まれていきます。そんな機会を今後も大事にしていきたいと思っています。



畑サポーターさんに手伝って
いただき240株を植えました。



6/2 さつまいも
苗植え



畑で虫を発見！



6月2日にさつま芋の苗240株を植えました。

縦割りのファミリーの少人数で畑に出かけました。

園務員の先生からまっすぐに植えることや、深く植えること教えてもらい、その後、畑サポーターさんにも手伝っていただき植えました。

今後、秋に大きくなるさつまいもの生長を継続して見ていくことで、以前との変化に気が付いたり、次を予想したりして興味関心が深まっていきます。また、見通しをもって生活する姿にもつながっていくことを願っています。

今では、つるが長く長く伸びて、生長しています。



6/9タマネギ 大収穫



タマネギの匂いは？

6月9日になつめ組と、たいよう組でタマネギの収穫をしました。

今年は、とても大きなタマネギが多く、一人では抜けない子もいました。私たちも、その様子を見てすぐには手を掛けず、「大きくてなかなか抜けないね」「どうしようか」と声を掛けました。すると「あと少しだから大丈夫」と頑張ることを話す子や「手伝って」と自分でSOSを出す子がいました。

自分で自分の事が話せることも大事なことだと考えています。

「じゃあ、誰か手伝ってって一緒に言おうか！」と伝え、話すと、誰かが喜んで手伝いに来てくれます。そして抜けた後のやりきった表情がとても素敵です。

何事も簡単にできてしまうことより、ちょっと大変だったこと、友達が手伝ってくれたこと、そんなときには、達成感が大きくなっていくように思います。

タマネギを園に持ち帰ってきた後、なつめ組さんは、これ、何しているかと思いませんか。匂いを嗅いで観察しているのです。

19
3
100
20

たまねぎの
かずを
よそうしてみよう!!

9
12



タマネギ
いくつ採れた



たいよう組さんは、タマネギがいくつ取れるか、予想しました。3個という子や100個と言う子までいました。数の概念をこういう機会に感じれるといいな、と願ってのことです。

たくさん収穫したタマネギをどのような方法で数を数えようか、そこから子供たちと相談しています。「1個ずつ並べよう」となり、並べている様子ですが、何故か、渦を巻くように並べています。大人は、まっすぐに並べることを考えていきますが、子供の柔軟さが面白いです。渦のように並べていくことが、数を数えることにつながるように、担任がまた、子供たちに相談を持ち掛けます。

「じゃあ、1個ずつ、かごに入れればいいよ」など様々な意見が出てきた中、最後には、10個ずつたらいに入れてみることになりました。

やってみては、考え、やってみては、考え、の繰り返しです。
結果としては、全部で174個でした。



6/16 ジャガイモ大収穫



6月16日 ジャガイモを全園児で収穫しました。

畑にスコップも持って行きましたが、この手つき、スコップよりも力強いですね。最初はスコップを使う子もいましたが次第に、スコップを手放し、自分の手で掘りだしていきます。ジャガイモが土から顔を出すと、更に手つきが力強くなっていきます。

中には、ミッキーの形をしたものを見つけた子もいます。小さな小さなジャガイモです。いい目でジャガイモの形を見ているのですね。こうした実体験から、いろいろな形を捉える概念へのつながっていくと考えます。

タライにたくさん入ったジャガイモを運び出すと、しぜんと子供たちが手伝ってくれます。こあら組さんもです。

「わっしょい」という掛け声とともに楽しい雰囲気伝わっていくのでしょうか。



ジャガイモ
の重さは？



たいよう組さんは、ジャガイモの重さをはかりました。

計る方法の相談をすると、子供たちのほうから「体重測定をする時に使う道具がいいと思うよ」と、毎月、体重測定をしているという実体験が生きています。

タライ1個ずつ、体重計にのせて、数字を書き留めています。

数字を見て読む、そして、真似して書く、子供たちは、実によく数字を見えています。

6個のタライの重さを測り終わりました。次はそれをどのようにすると、全部の重さが分かるか、相談しました。いわゆる、足し算ですよ。

子供たちも考えます。最後は、「全部のたらいをのせて計ったらいい」といことになり、のせていることです。子供たちが考えたことを大人も一緒にやってみる、やってみることで次が、先が見えてきますよね。

この経験が今後の、物事に挑戦しようとする力につながっていくと考えます。